

# 大和郡山 防災ニュース 4. 1月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

## あけましておめでとうございます！ 矢田山町第7自治会安否確認訓練 を見学しました！

今月は、12月5日に矢田山町第7自治会で実施された災害時を想定した安否確認訓練を見学しましたのでご紹介します。

### 自治会における避難計画の第一歩は安否確認を行える体制づくり！

災害時に自分はどこへ避難するのか？特に、最近では新型コロナウイルス感染防止の観点から、災害時の避難についても避難所への避難、在宅避難、知人・親戚宅避難など分散化することが求められています。安全が確保されるのなら、在宅もまた避難であるという考え方です。

さらに在宅避難で自宅の備蓄食糧が心許ない場合、市指定避難所で食糧支援を受けることもできます。

このような分散避難の考え方において、震災等の災害時における地域、自治会で最も大事な役割は、まず近隣住民の安否確認を行い、さらに今後の意向確認（避難所に逃げるのか？自宅に留まるのか？留まるなら食糧支援は必要なのか？）を取りまとめることです。

### 比較的簡易にできる安否確認訓練！

地域でよく行われる防災訓練は、地震等が発生した想定で住民が集合場所で点呼を行い、集団で避難場所まで避難を行うというものです。一人一人の住民が避難までの手順と経路、避難所を確認しながら進めることから大変有意義なのですが、集合後のイベントの企画や記念品の確保など準備の手間や費用もかかるので毎年行うのは困難という自治会が多いというお話もお聞きします。

この点、安否確認訓練は上記のような避難訓練と比較して事前の準備を比較的軽減しながら実施することが可能です。



### 班長が班内の各戸を回って安否確認！

今回、見学した矢田山町第7自治会の訓練では、まず、班長と副班長が自治会内の公園に集まった後、班単位で世帯名の入った調査票を持って、1軒1軒インターホンを鳴らして在宅か不在かを確認、在宅ならば安否確認訓練であることを告げて玄関まで出てきてもらう、というものです。私共市職員も一緒について回ったのですが、その班長さんは普段からのご近所付き合いがあるので親しみのある会話の中で10軒あまりを20分くらいで確認して回られました。自治会全体では9班あり、それぞれの班が安否確認後公園に戻ってきて、自治会に調査票を提出して結果を報告します。なお、班長に加えて前班長にも

参加してもらっているのは、いざ災害の時、お勤めなどで班長が不在だったり、班長自身が被災しているということも考えられるため、班長が不在なら前班長、さらに前班長が不在なら前々班長が行う、というルールを決めておくことで確実に安否確認がなされる体制づくりという観点からでした。

## 1時間で終了し、かつ住民の意識に残る訓練！

訓練の後、結果が集計され、約3分の2の世帯が在宅していて安否を確認できたという報告がなされました。訓練後に私共が行ったミニ防災講座の中で「留守のお宅はどう対応すれば良いか？」というご質問がありましたので「お留守の家がご夫婦とお子様のような世帯なら外出されていると推察されますが、高齢者のみの世帯の場合、居室内で負傷しているため返事できないことも考えられ、そんな時はどうするか、をご本人と事前に話をしておくことが大事」と回答しました。

今回は班長さんたちが集合してから訓練終了まで、防災講座の時間を入れても、およそ1時間という短い時間で終了しました。

さらに集合場所の公園には自治会の防災用品倉庫が設置されていて、当日は班長向けに自治会長等から防災物品の説明と確認がなされましたが、災害時には自治会長が不在でもその倉庫の開錠が確実に行われる体制もつくられていました。



この日は自治会の班長会議の日を活用し、1時間ほど早く集まってこの訓練を実施したとのことでこのような訓練なら毎年行っても負担感は少ないし、安否確認された側もいざというときには班単位で安否確認がなされることを理解できたと思います。

## 編集後記

私にとって、今回の訓練は市内の他自治会への防災啓発を行う観点からたいへん参考になりました。また、実際の安否確認の訓練風景を見せていただき、いざというときの安心安全には日頃からのご近所付き合いが大事なことを再認識しました。さらに継続性をもって防災活動を続けるために自治会役員の皆様にはいろいろ工夫しながら活動していただいていることも実感いたしました。今回お声がけをいただいた吉森会長他役員の皆様にはありがとうございました。

## 自治会などの防災出前講座依頼も受付中！ 少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

[大和郡山防災ニュース](#) 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください

[大和郡山市消防団へようこそ](#) 🔍 検索

発行人 市役所市民安全課